

研究機関：広島大学

研究課題名：広島大学病院がんゲノム関連臨床試験情報データベース（HCGCT DB）を活用したがん遺伝子パネル検査結果に基づく臨床試験情報提供の有用性に関する研究
研究責任者名 広島大学病院薬剤部薬剤部長 松尾 裕彰
研究期間 倫理委員会承認後～ 2026年 3月（解析期間含む）
対象者 2019年6月から 2024年12月の間に、広島大学病院内で広島大学エキスパートパネルの対象となった患者。
意義・目的 2019年6月から「がん遺伝子パネル検査」が保険適用となり、広島大学病院においても同月から患者さまの治療方針を決定する専門家会議「エキスパートパネル」が開始されました。エキスパートパネルは、遺伝子パネル検査を実施している検査会社より返却された、遺伝子変異や臨床試験情報等が記載されたレポートを参照しながら進行します。厚生労働省が行ったがん遺伝子パネル検査の実態把握調査では、がん遺伝子パネル検査の結果により治療に結びついた患者の割合は10.9%と報告されており、その割合は少ないといえます。そこで広島大学病院では、がんゲノム関連臨床試験情報を充実させるため、検査会社の調査結果レポートに記載されている臨床試験情報に加え、公共の臨床試験登録データベース等を利活用して、広範かつ最新の情報を集積した当院独自の臨床試験情報データベースを構築しました。データベースを用いた臨床試験情報の提供という取り組みのアウトカムを評価し、その有用性が明らかになれば、より多くのがん遺伝子パネル検査を受ける患者さまと臨床試験を繋げることができると期待されます。
方法 本研究はエキスパートパネルで提示された検査結果レポートを使用して研究を行います。転記する内容は遺伝子変異情報、臨床試験情報等です。
共同研究機関 なし
試料・情報の管理責任者 広島大学遺伝子診療科 特任教授 檜井 孝夫
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-2052 広島大学病院薬剤部 薬剤師 板村 亮